



夏のやけど 思いがけない場所に注意

事例 1

日差しで滑り台が熱くなっていて、おしりをやけどした。

(当事者：1歳 女児)

事例 2

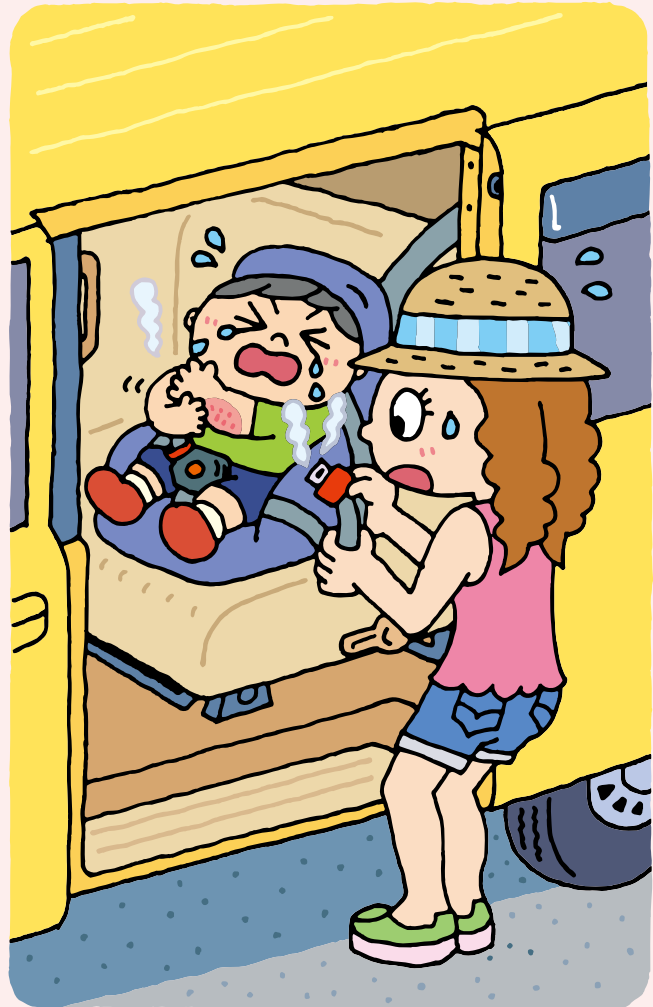
屋外の機械式駐車場の鉄板の上に座ってしまい、やけどをした。

(当事者：0歳 男児)

事例 3

真夏の炎天下に駐車してあった車のチャイルドシートの金具が熱くなっていて、やけどしそうになった。

(当事者：2歳 男児)



.....ひ と こ と ア ド バ イ ス.....

- 強い日差しで熱せられた公園遊具などの金属部分、アスファルトなど、夏は思いがけない場所にやけどの危険が潜んでいます。
- 子どもは、大人に比べ皮膚が薄いことや体が小さく体表面積が少ない

ことなどから、重症になる傾向があります。高温になるものが周囲にないか確認しましょう。

- 子どもの成長に応じて、子どもが自分でやけどを防げるよう、説明していくことも大切です。

